
キャンプ桑江南側地区

平成23年度

まちづくり説明会（第2回）

平成24年2月29日

北 谷 町

次第

1. 開会の挨拶

- 北谷町総務部長 謝花良継

2. 説明

- (1) 返還に関する現状報告
(2) 今年度の取り組み

3. 意見交換

4. 講演

- 【桑江南の上等マチづくり】
琉球大学工学部 准教授 安藤徹哉

5. 意見交換

6. 閉会

地区の位置



地区の位置



返還に関する現状報告

《平成24年2月上旬のニュース》

琉球新報 THE RYUKYU SHIMPO 第37024号

日米「普天間分離」で合意

在沖海兵隊分散移転

「継続使用」へ補修計画

嘉手納より南 返還見直しも

【本紙記者取材】日米両国政府は、普天間飛行場の移転先として、嘉手納飛行場の南側に、約400ヘクタールの土地を確保し、普天間飛行場の機能を継続して使用する計画を合意した。日米両国政府は、普天間飛行場の機能を継続して使用する計画を合意した。日米両国政府は、普天間飛行場の機能を継続して使用する計画を合意した。

1 総合 1版 2012年(平成24年) 2月9日 木曜日 沖縄タイムス

グアム移転先行

「普天間」と切り離す

米軍再編見直し 嘉手納以南返還も

【本紙記者取材】日米両国政府は、普天間飛行場の移転先として、嘉手納飛行場の南側に、約400ヘクタールの土地を確保し、普天間飛行場の機能を継続して使用する計画を合意した。日米両国政府は、普天間飛行場の機能を継続して使用する計画を合意した。



知事「整理・縮小」につながる

返還に関する現状報告

《H24. 2. 8 日米両政府による共同発表》



アジア | 北米 | 中南米 | 欧州(NIS諸国を含む) | 大洋州 | 中東 | アフリカ



共同報道発表

平成24年2月8日

日本と米国は、日本の安全及びアジア太平洋地域の平和と安全を維持するため、両国間の強固な安全保障同盟を強化することを強く決意している。両国は、沖縄における米軍の影響を軽減するとともに、普天間飛行場の代替施設をキャンブ・シュワブ辺野古崎地区及びこれに隣接する水域に建設することに引き続きコミットしている。両国は、普天間飛行場の代替施設に関する現在の計画が、唯一の有効な進め方であると信じている。

両国は、グアムが、沖縄から移転される海兵隊員を含め機動的な海兵隊のプレゼンスを持つ戦略的な拠点として発展することが、日米同盟におけるアジア太平洋戦略の不可欠な要素であり続けることを強調する。

米国は、地理的により分散し、運用面でより抗堪性があり、かつ、政治的により持続可能な米軍の態勢を地域において達成するために、アジアにおける防衛の態勢に関する戦略的な見直しを行ってきた。日本はこのイニシアティブを歓迎する。

このような共同の努力の一環として、両国政府は、再編のロードマップに示されている現行の態勢に関する計画の調整について、特に、海兵隊のグアムへの移転及びその結果として生ずる嘉手納以南の土地の返還の双方を普天間飛行場の代替施設に関する進展から切り離すことについて、公式な議論を開始した。両国は、グアムに移転する海兵隊の部隊構成及び人数についても見直しを行っているが、最終的に沖縄に残留する海兵隊のプレゼンスは、再編のロードマップに沿ったものとなることを引き続き確保していく。

今後数週間ないし数か月の間に、両国政府は、このような調整を行う際の複数の課題に取り組むべく作業を行っていく。この共同の努力は、日米同盟の戦略目標を進展させるものであり、また、アジア太平洋地域における平和と安全の維持のための日米共通のビジョンを反映したものである。

返還に関する現状報告

《H24. 2. 8 日米共同発表のポイント》

●「在沖海兵隊のグアム移転」と「沖縄県南部にある米軍5施設・区域の返還」を 普天間基地移設と切り離して先行

●在日米軍再編計画の見直しは、数か月以内に結論

桑江南側地区の返還に大きく関連する部分

●米軍普天間基地の代替施設を名護市辺野古へ移設する現行計画案は唯一有効な進め方

●アジア太平洋地域の平和と安全を維持するため日米同盟を強化

返還に関する現状報告

これまでの
キャンプ桑江南側地区の返還条件

《返還条件①》

SACO最終報告(H8.12.2)

《返還条件②》

再編実施のための日米のロードマップ(H18.5.1)

見直しへ

返還に関する現状報告

《返還条件①》

SACO最終報告(H8.12.2)

- 海軍病院のキャンプ瑞慶覧への移設
- 残余の施設（住宅等）のキャンプ瑞慶覧又は沖縄県内の他の米軍施設及び区域への移設
- キャンプ桑江及びキャンプ瑞慶覧の住宅統合

返還に関する現状報告

~~《返還条件②》~~

再編実施のための日米のロードマップ(H18.5.1)

- ・ 普天間飛行場代替施設への移転
- ・ 第3海兵機動展開部隊要員及びその家族の
沖縄からグアムへの移転
- ・ 沖縄に残る施設・区域の統合

~~※全体的なパッケージの中で沖縄に関連する
再編案は相互に結びついている。~~

返還に関する現状報告

《SACO最終報告の進捗状況》

海軍病院の移設

- ・H21.05 移設先で病院建設着工
- ・現時点 移設先の病院建物本体は完成済み
(付帯施設の工事が残っている)
- ・H24.03 病院機能の移転開始(予定)
- ・H24.10 機能移転完了(予定)

残余の施設の移設

情報なし

返還に関する現状報告

《SACO最終報告の進捗状況》

住宅統合

- ・ H14.07 高層住宅2棟提供
(キャンプ瑞慶覧ゴルフレンジ地区)
- ・ H17.09 高層住宅2棟及び低層住宅38棟提供
(キャンプ瑞慶覧サダ地区)
- ・ H20.06 低層住宅35棟提供
(キャンプ瑞慶覧北谷東地区)
- ・ H22.02 低層住宅24棟提供
(キャンプ瑞慶覧アッパープラザ地区)

返還に関する現状報告

【海軍病院の移設先の様子】



【2011年 (H23年) 11月撮影】



【2011年 (H23年) 11月撮影】

返還に関する現状報告

《駐留軍用地跡地利用推進法(仮称)の制定 に向けた動き》

H23年度末に現在の軍転法が期限切れ

H24.2.10 閣議決定→国会[衆院]提出

- ・沖縄県における駐留軍用地の返還に伴う特別措置に関する法律の一部を改正する法律案

H24.2.7 野党提案→国会[参院]提出)

- ・沖縄における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法案

今年度内の成立へ向けて、国会で審議中

今年度の取り組み

これまでの取り組み

まちづくり基本構想

平成16年度
平成19年度

まちづくり基本計画

平成20年度
平成21年度

跡地利用行動計画

平成22年度

今年度の取り組み

今後のまちづくりに向けた検討課題の1つ
「賑わい広場」についての概略検討

今年度の取り組み

「賑わい広場」とは
返還後の新しい「まち」に賑わいを出す公共空間

まちづくり勉強会や有識者会での意見

親子で楽しめる公園の広場

集会所等のコミュニティ広場

イベント等を行う多目的広場

道の駅、ファーマーズマーケット

商店街のような日常生活で利用する場所

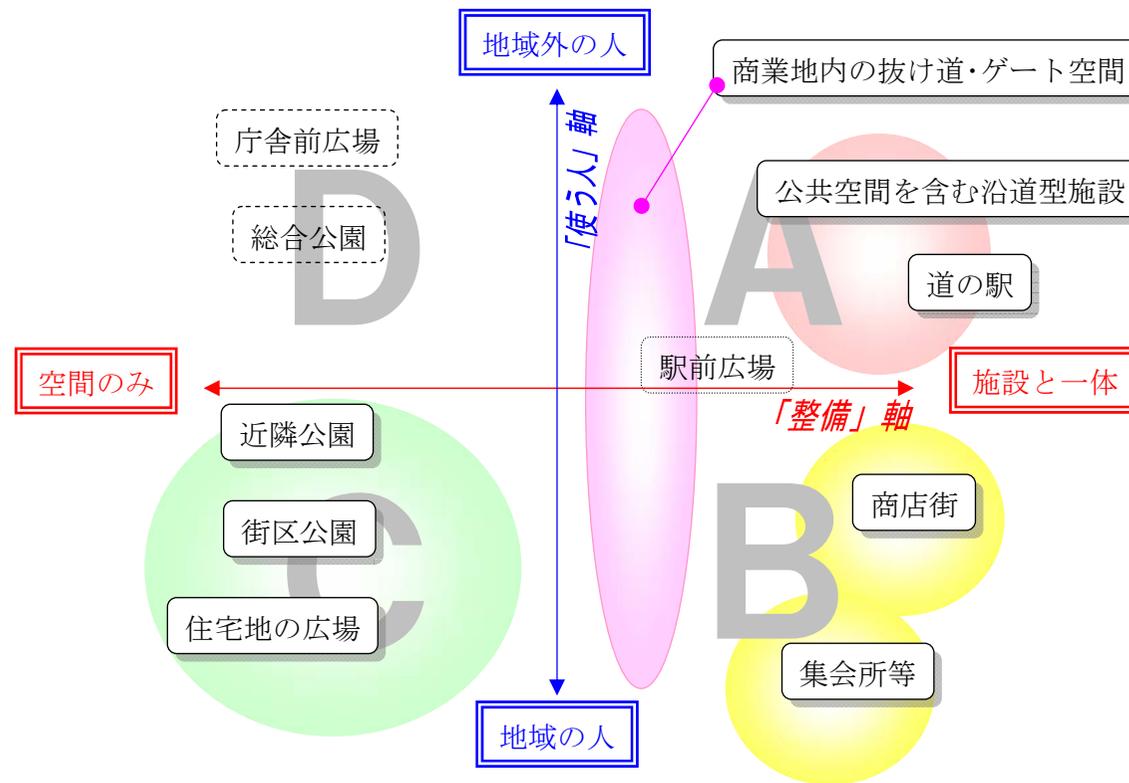
美浜地区等から観光客を誘導し地域の人と交流する場所

R58沿道に広場は必要か？

何も建てない空地ではなく、商業的な活用の中に公共のスペースが組み込まれた場所

今年度の取り組み

広場（公共空間）についての意見を
図に整理すると・・・



まちづくり講演会

《講師紹介》

安藤 徹哉 様

□琉球大学 准教授（工学博士）

工学部 環境建設工学科

- ・ 専門：都市・地域計画、景観設計
- ・ 受賞：那覇の景観賞（2000年・2006年）
（壺屋やちむん通り・クレッセント石畳道）
- ・ 委員等：沖縄県環境影響評価審査会委員（景観）
本地区の有識者会座長（2007～）

《メモ》

《メモ》